

無いとも言ひ得るのである。

さて健民運動實施に當つて先づ結核に就いてであるが、畏くも 皇后陛下には之が豫防撲滅に就いて御心を用ひさせられ昭和十四年四月二十八日有難き旨をさへ賜つて居る。それで五月一日を期し各職場に於て捧讀を行ひ擧つて結核の豫防撲滅に關する決意を更に固めると共に、結核豫防知識の普及、集團檢診の徹底、特に患者家族に對する結核豫防の徹底、採光換氣の改善、外氣生活の獎勵等に努むべきである。又性病の豫防撲滅に關しては先づ之が知識の普及を圖ると共に血清檢査の勵行、一般人に對する無料相談及檢診、業態者に對する豫防の徹底等に留意して運動を展開すべきであらう。

### 農林省の昭和十六年米實收高の發表

昭和十六年の米實收高につき農林省が昭和十七年三月二十七日付官報を以て發表せる所を再録すれば以下の如くである。

#### 昭和十六年米實收高

昭和十六年米實收高左の如し

昭和十六年に於ける米實收高は五千五百八萬七千四百

増  
減(△ハ減)

増  
減(△ハ減)

増  
減(△ハ減)

増  
減(△ハ減)

實收高

第二回豫想  
收穫高に比し

前年實收高  
に比し

前五箇年平均  
均實收高に  
比し

總數

五千〇七五、〇〇〇石

△ 三七四、七〇〇石

△ 五七六、八〇〇石

△ 二〇七、六〇〇石

北海道

△ 一、三九九、三〇〇石

△ 九六、二七六石

△ 五七三、四三二石

△ 一、六四三、二三五石

東北區

關東區

青森 七二、一六四

△ 五二、九四〇

岩手 八三、〇〇八

△ 一八、七七八

宮城 一三四、一四四

△ 一八、八二四

秋田 三三六、六六一

△ 七、七六〇

山形 三二五、八七七

△ 一七、四七〇

福島 一六七、六七一

△ 四〇、五八〇

百五十石にして之を前年實收高に比すれば五百七千

八萬六千八百二石(九分五厘)を、前五箇年平均實收高に比すれば千七百八十八萬六千五百石(一割六分四厘)を減少せり

而して其作付面積は三百八十八萬二千七百八十八町にして全國平均一段歩實收高は一石七斗三升一合に當る蓋し本年の稲作は移植概ね順調に經過せるも移植後

は六月中旬より七月下旬に互り全國的に低温、多雨寡照なりしたため稲の發育遅延し生育軟弱の傾向にありしに加へ六月下旬、七月上旬に於ける近畿以西の豪雨及七月中、下旬に於ける東北、關東地方の水害並に北陸、東北地方に於ける稻熱病の發生ありたるも之が被害の輕減に努めたと八月中旬に於ける天候の回復とに因り稻の生育相當挽回を見るを得たり

然るに九月に入りて再び概して低温、多雨、寡照となり一般に其影響少からざるものありしたため九月二十日現在に於ける第一回豫想は五千九百十三萬四千四百三十石となり其後に於ても天候概ね不順にして北海道及東北の一部地方の冷害は益、深刻となりり中國、四國及九州地方に於ては十月一日の颱風に因る被害ありしのみならず且一般に稔實不良なりしものありしたため十月三十一日現在に於ける第二回豫

想は第一回豫想に比し三百六十七萬二千二百十石

(六分二厘)を減少したり然るに其後は長野以東の地方に於ては幾分の増を見たるも岐阜以西の地方に於ては刈取調製の結果結實不良に因る減を見たるを以て實收高は第二回豫想に比し三十七萬四千七百七十石(七厘)の減少を示すに至れり

尙ほ參考のため最近五箇年間に於ける作付面積及實收高を掲ぐれば左の如し

年	作付面積 町段	實收高 石
昭和十一年	三三〇、九三〇	七、三九、六九〇
昭和十二年	三三七、〇三三	六、三九、七六四
昭和十三年	三三〇、七九四	六、八六、〇九二
昭和十四年	三二九、七三〇	六、八九、四六六
昭和十五年	三二七、三三二	六、〇八、四二二
自昭和十一年至昭和十五年 五箇年平均	三三〇、三三四	六、五八、三三四
昭和十六年	三二八、七八〇	五、〇八、四四〇
同 第一回豫想收穫高		五、一三、四三〇
同 第二回豫想收穫高		五、四三、三三〇

(備考) 本年作付面積に於て畿に發表したるものと相違あるは今川沖繩縣の第二期作分を加へたと其後訂正の地方ありたるに由る

茨城	1,560,750	3,820	4,670,100	6,330,350	兵庫	1,875,300	9,920,000	3,335,570	2,371,150
栃木	1,498,198	9,588	1,498,198	1,498,198	奈良	675,820	9,700	1,875,800	4,695,550
群馬	748,350	670	1,880,400	3,351,250	和歌山	770,000	1,693,000	1,991,800	5,375,750
埼玉	1,053,361	291	3,311,240	4,640,450	中國區				
千葉	1,789,552	3,121	1,490,992	4,681,280	鳥取	547,525	1,050	1,955,505	1,755,507
東京	1,300,643	2,567	4,000,340	8,890,990	島根	840,630	1,326,700	1,755,570	1,850,048
神奈川	367,487	1,758	1,000,420	1,566,030	岡山	1,690,491	1,311,649	1,793,850	1,755,455
北陸區					廣島	1,521,321	2,739	2,079,983	1,681,287
新潟	3,655,357	6,677	5,840,740	8,389,950	山口	1,360,427	5,257	4,003,800	4,678,200
富山	1,300,937	2,857	4,480,260	4,716,520	四國區				
石川	980,500	7,641	2,850,040	2,670,970	徳島	450,643	2,578	7,628,100	9,555,550
福井	888,944	6,854	2,037,750	1,066,330	香川	833,295	2,693,550	7,420,270	7,691,000
東山區					愛媛	827,730	1,678	4,756,100	1,007,700
山梨	384,901	1,841	6,840,700	70,920	高知	508,800	1,750	2,078,200	2,690,400
長野	1,666,490	2,411	3,351,000	4,691,000	九州區				
岐阜	1,074,520	7,480	3,277,580	3,340,920	福岡	2,046,930	5,745,800	9,255,550	2,860,800
東海區					佐賀	1,359,000	7,048	1,327,330	9,706,600
靜岡	1,174,368	3,192	1,010,240	1,681,290	長崎	540,770	3,784	1,007,700	6,950,000
愛知	1,638,343	1,898	4,798,820	4,757,790	熊本	1,805,830	7,637	3,340,000	1,540,350
三重	1,166,880	5,160	2,650,440	2,987,780	大分	1,065,500	1,998	80,307	2,632,350
近畿區					宮崎	947,855	2,105	2,557,580	1,311,290
滋賀	1,353,408	8,952	1,755,360	1,681,320	鹿兒島	1,390,670	2,993	3,606,430	5,800,900
京都	793,657	3,043	9,710	9,710	沖繩	1,131,270	1,540,700	3,401,670	1,091,800
大阪	905,330	8,700	6,234,000	6,075,000					

農林省の主要農産物對策要綱の發表

農林省に於いては大東亞共榮圈内に於ける食糧對策樹立を目的として、同省農林計畫委員會を中心に種々特別委員會を設けて考究しつゝあつたが、その具體的

なる成案を得て昭和十七年四月新聞紙を通じ之を發表した。之を掲ぐれば次の如くである。

主要農産物對策要綱

主要農産物對策については差當り今後十箇年を一期

として東亞共榮圏の各地域につき計畫を樹立すること  
一、生産計畫  
概ね左により計畫を概定するも共榮圏の範圍擴大せる場合においてはこれに對應して計畫を補修するもの